

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアカンファレンスに、家族も参加していただく事が昨年度の課題であったが、コロナ禍継続につき、対面でのケアカンファレンスの開催は実現できなかった。現在のところでも電話で意向を確認しているが、大まかな意向内容になっている。今後、参加を希望される家族にもケアカンファレンスに参加していただき、職員と直接意見交換を行い、家族もチームの一人として計画書作成に関わっていただけると良い。	ケアカンファレンスに家族も参加していただく。 【ねらい】 施設と家族が直接意見交換し、方向性を確認・共有した上で計画書が作成できる。	・カンファレンスの意義等を予め文章及び家族会（開催できれば）でお伝えする。 ・カンファレンス時期前に、対象利用者家族に参加・不参加の意向を確認する。（不参加の場合は今まで通り電話での意向確認とする） ・カンファレンスでは意見交換がしやすいよう、簡単な質問を用意しておく。 ・計画の方向性を確認、共有しその後計画書を作成する。	6 か月
2	43	オムツの使用法等の研修を実施したが、かなりの年数が経過している。入居者一人一人に適したオムツ・パットを使用できているか？またオムツの当て方など、適切であるか？などの点について、施設独自の思考になっている可能性がある。各オムツの機能の理解や、正しいオムツの当て方を学び直す機会が必要。（尿漏れ防止、無駄なパットの使用がないかなど今一度確認する）	研修を実施し、オムツの適切な当て方の基本と、入居者1人1人に適したオムツの選定を学び、尿漏れ（汚染）防止とオムツの使用量削減に繋げる。 【ねらい】 排泄の仕組みや、各オムツの機能、オムツの適切な当て方を理解する。	・オムツメーカーによる、研修の現地。（排泄の仕組み、オムツの種類とその特徴、正しいオムツの当て方など） ・入居者のオムツ使用の検証と見直し。 ・見直しに対する実践と検証。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。